

ID LETTER



特集 システム運営管理が新たなステージへ

第50期 決算のご報告 2017.4.1～2018.3.31

ID INFORMATION DEVELOPMENT

新生 **ID** グループで イノベーションの創出を目指します!

Q1 2018年3月期は?

2018年3月期の売上高は過去最高の232億7百万円、6期連続増収を達成しました。不採算案件は発生したものの、営業利益は5期連続、経常利益は2期連続の増益となり、ともに過去最高を更新することができました。また、当期純利益については、前期計上した退職給付制度終了益の反動減などにより、過去2番目の水準となりました。

Q3 AIやIoTなどの新技術については?

既存サービスの競争力強化、生産性や品質向上のため、新技術の取り込みを積極的に進めています。AI・機械学習を活用した最先端セキュリティ製品「Seceon OTM」や、スマートグラスを活用したSaaS型遠隔作業サービス「IDEye」の販売開始、産業用制御システム向けセキュリティ製品を提供するCyber X社とのパートナー契約の締結などを実施しました。

Q5 2019年3月期の見通しは?

2019年3月期については、買収した子会社の寄与に加え、受注環境も堅調であるため、売上高目標数値を263億円に上方修正しました。一方、外注単価の高止まりや、子会社買収にともなうのれんの償却、ならびに統合関連費用の発生を踏まえ、営業利益を14.8億円に目標設定いたしました。今期は子会社買収シナジー効果の早期実現に注力していきます。

Q2 プロジェクト管理体制の強化については?

案件受注規模の大型化が進む一方、短期化への対応が求められています。プロジェクトを確実に成功させるために、昨年来取り組んでいる施策に加え、注目されている開発手法アジャイルの採用を進めています。また、国際的なプロジェクト管理者資格PMPの取得に全社をあげて取り組んでいます。

Q4 持株会社制への移行を延期されたとのことですが?

6月22日の株主総会において、持株会社制への移行を付議する予定でしたが、直前になって法的要件を一部充足していないことが発覚し、議案を取り下げました。混乱をまねき迷惑をおかけしたことを心からお詫びし、社長の役員報酬の10%を6か月間返上することといたしました。持株会社制への移行については、必要な準備が整い次第改めてお諮りする所存です。

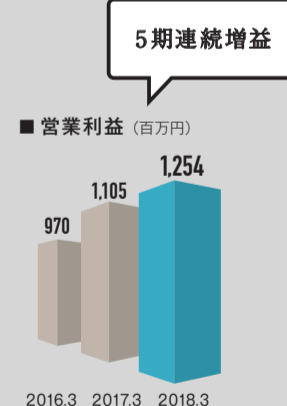
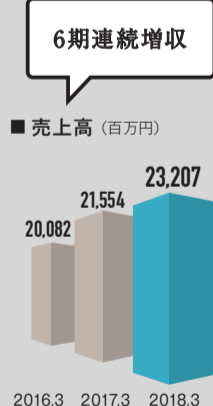
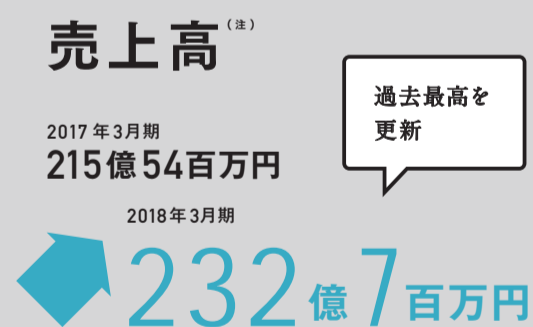
Q6 配当についての考え方は?

株主の皆さまに対する利益還元を、経営の重要課題のひとつと考えています。2018年3月期については、1株当たりの配当金を前期の37円から3円増配し、40円といたします。2019年3月期は、40円の年間配当とさせていただく予定です。IDグループは、これからも企業価値向上に努め、株主の皆さまのご期待にお応えしてまいります。



代表取締役社長

船越真樹



(注) 2018.3の売上高については、2018.1に子会社化したフェスの3か月分の数値を含んでおり、1人当たり指標は、それを期末の連結人数で除して算出しております。

会社情報

商号 株式会社インフォメーション・ディベロップメント(略称:ID) INFORMATION DEVELOPMENT CO., LTD.

本社所在地 〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL.03-3264-3571(代表) FAX.03-3264-3618

創立 1969年(昭和44年)10月20日

資本金 5億9,234万円

社員数 2,455名(連結、2018年3月31日現在)

役員

代表取締役社長	船越 真樹	常勤監査役	田村 公一	執行役員	加藤 剛
代表取締役副社長	山川 利雄	監査役	岡崎 正憲	執行役員	木村 由美子
取締役兼専務執行役員	小池 昭彦	監査役	増田 裕明	執行役員	坂本 康
取締役兼専務執行役員	七尾 静也	監査役	長谷川 啓一	執行役員	黒崎 祐三
取締役	杉浦 章介	専務執行役員	南 耕治	執行役員	高橋 かおり
取締役	林 慶治郎	専務執行役員	山内 佳代	執行役員	藺田 健一
		専務執行役員	土谷 明	執行役員	青井 淳一
				執行役員	石倉 隆一

※取締役 杉浦章介、林慶治郎は社外取締役です。 ※監査役 岡崎正憲、増田裕明、長谷川啓一は、社外監査役です。

2018年6月22日現在



相乗効果

システム運営管理が 新たなステージへ

近年、AIやRPAなどにより業務の自動化が進んでいます。それにともないシステム運営管理のかたちも変わろうとしています。

2018年1月4日、医療向けシステム運営管理、ITSM(IT Service Management)コンサルに強みをもつ

株式会社フェスをIDグループに迎えました。社会インフラを支えるIDの事業分野に医療分野を加え、

ITSMのノウハウを共有することにより、システム運営管理のレベルを高め、次の時代のITサービスを提供していきます。

医療 × 基盤構築

需要が多い医療向け
基盤構築に参入します。

医療 × システム開発

医療向けシステム開発を
強化します。

コンサル範囲の拡充

開発コンサルにITSMコンサルを
加え、上流工程の強化を図ります。

中小病院の開拓

パッケージの導入を提案し、
効率化を支援します。

人財育成の促進

技術やノウハウを共有し、
人財育成をいっそう進めます。

システム運営管理なら



ID
INFORMATION DEVELOPMENT

株式会社
インフォメーション・
ディベロップメント

もうすぐ
50周年

番町会館(本社)



Fess
For Examination Services and Support

株式会社
フェス

もうすぐ
20周年

サンシャイン60
(本社)

事業

- サイバーセキュリティ
- ソフトウェア開発
- システム基盤
- システム運営管理
- ITSMコンサル

売上高

2018年3月期

23,207
百万円

株式会社フェス
第1事業部 第1グループ
グループリーダー
上間 政也 (うえま まさや)

電子カルテの運用サポートを軸に
医療IT業務を担当しています。今
後お客様の基盤構築需要も視
野に入れ対応していきます。

顧客

- 金融
- 公共
- 航空
- 医療
- カード

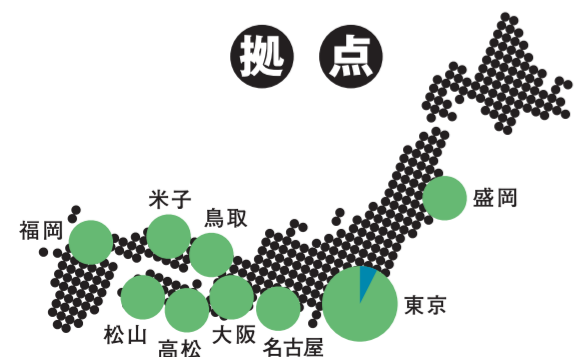
人員

2018年3月末時点

2,455
名

株式会社フェス
第2事業部 ICTサービス
第1グループ 第1チーム
チームリーダー
松澤 豊 (まつざわ ゆたか)

ITSMコンサルを中心に活動して
います。IDグループの大手顧客に
向けて、最適なソリューションを提
案していきます。



平均年齢

2018年3月末時点

38.3
才

株式会社フェス
第2事業部 副事業部長
内堀 美穂 (うちほり みほ)

人材交流や協業などによるグルー
プの一体化を積極的に進め、相乗
効果の最大化を実現します。

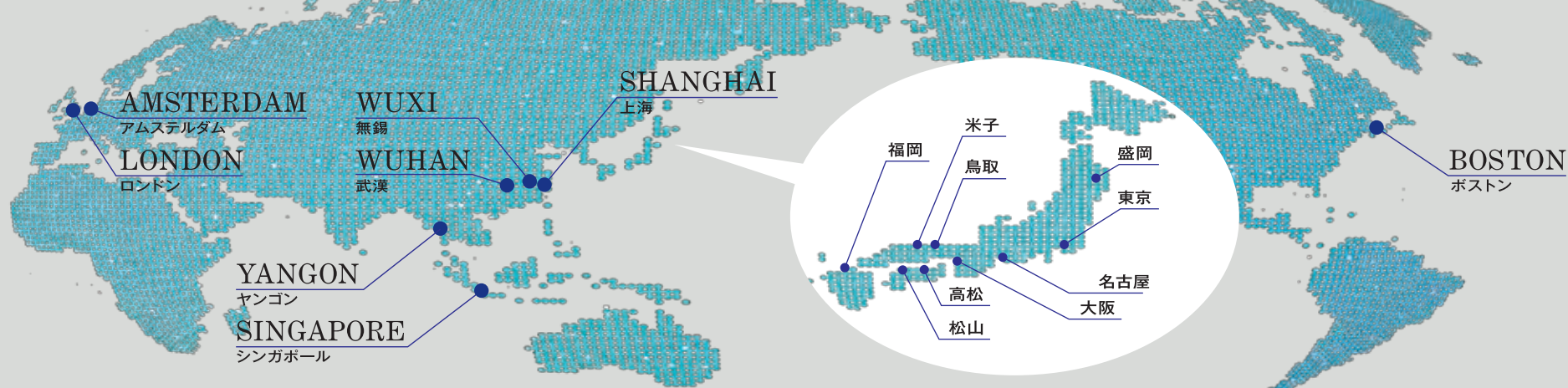
ID NEWS



米国CyberX社の国内第一号 販売パートナーになりました



CyberXは、イスラエル国防軍出身者が開発した最先端の産業用制
御システム(ICS)向けサイバーセキュリティソリューションです。北米
トップ電力会社5社を含む全世界350社での稼働実績を持っています。
今後IoTが進むにつれ、IT(情報技術向け)セキュリティに加え、OT
(制御運用技術向け)セキュリティ対策は欠かせないものとなります。
当社はCyberX社とともに、日本のお客さまへ向けて強固なICSセ
キュリティソリューションをご提供します。



国内・海外
ネットワーク

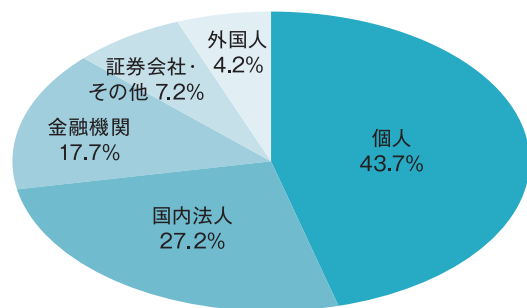
(2018年6月22日現在)

- 株式会社ブライド
資本金: 4,000万円 ID出資比率: 92.7%
- 株式会社フェス
資本金: 6,000万円 ID出資比率: 100%
- 艾迪系統開発(武漢)有限公司
(略称: ID武漢)
資本金: 110万米ドル ID出資比率: 100%
- INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD.
(略称: IDシンガポール)
資本金: 573万シンガポールドル ID出資比率: 100%
- INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC.
(略称: IDアメリカ)
資本金: 550万米ドル ID出資比率: 100%
- 愛ファクトリー株式会社(特例子会社)
資本金: 5,000万円 ID出資比率: 100%
- IDM INFORMATION DEVELOPMENT MYANMAR CO., LTD.
(略称: IDミャンマー)
資本金: 127万米ドル ID出資比率: 83.9% IDシンガポール出資比率: 16.1%

■ 株式情報

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	12,044,302株
株主総数	3,750名

■ 株式数別構成



※株式情報および株主状況は、2018年3月31日現在の情報に基づいています。
※自己株式(5.39%)は、証券会社・その他に含まれます。

■ 大株主の状況

株主名	持株比率(%)
株式会社エイ・ケイ	10.32
株式会社みずほトラストシステムズ	8.50
ID従業員持株会	6.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4.21
みずほ信託銀行株式会社	3.51
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3.27
有限会社福田商事	2.49
TDCソフト株式会社	2.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1.99
船越朱美	1.64

※上記のほか当社所有の自己株式649千株(5.39%)があります。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当を行うときの中間配当金	9月30日
公告の方法	当社ウェブサイト上の電子公告により行います。 https://www.idnet.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵送物送付	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
および	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)	
単元株式数	100株	
証券コード	4709(東京証券取引所 市場第一部)	

株式会社 インフォメーション・ディベロップメント

〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL.03-3264-3571(代表)

IRお問い合わせ先: 社長室 TEL.03-3262-5177 >>> <https://www.idnet.co.jp>



※当社ウェブサイトへのアクセスができます。